

臨時休業に関する連絡【4月28日版】

重要な連絡

すべての学年について

インターネットを利用した生徒の学習支援に関する調査を行います。各クラスごとにメールアドレスを設定しました。今後、このメールを通じて担任とのやり取りが可能になります。メールアドレスを登録するために、松蔭高校生徒専用ホームページにQRコードをアップしました。アンケートに回答し、メールを送信してください。
まだ回答していない生徒は、すみやかに回答してください。

1 学校からの連絡事項（変更なし）

(1) 臨時休業について

ア 臨時休業は5月31日（日）まで延長し、6月1日（月）に学校を再開します。

ただし、今後の県内の感染状況等を踏まえ変更する場合もあります。

（ア）円滑な学校再開に向けて、5月21日（木）以降を学校再開準備期間と予定しています。

（イ）今後の対応について

今後の授業日程や生徒の皆さんの様子の把握・学習支援の方法等、必要な情報をできるだけ早く発信し、皆さんの休業中の生活に少しでも役立てるようにしたいと考えています。

(2) 学習に役立ててもらえる情報（変更なし）

ア 「愛知県総合教育センター」

HPに「新型コロナウイルス対策による臨時休校期間中の学習支援サイト（リンク）」が開設されています。

特に、新入生の皆さんには、1年生対象の「新入生応援サイト」があり、自主学習する上で参考になります。総合教育センターのアドレスは以下のとおりです。

<https://apc.aichi-c.ed.jp/>

イ 「NHK高校講座」

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/>

(3) その他（変更なし）

ア 臨時休業中の部活動等については、引き続き自粛とします。

イ 不要不急の外出は控えてください。

ウ 臨時休業中は毎日（土日や休日は除く）きずなネット及びHPで連絡を発信しますので、確認してください。

2 各学年からの連絡

(1) 第3学年 「全国共通テスト模試」について

大学進学希望者は、ぜひ積極的に申し込みをしてください。模試の申し込み方法は4月20日版の連絡に記載のとおりです。ただし、紙面でのお知らせが遅れたこともあります。期限を過ぎて申し込みでも受け付けます。

3 その他

(1) ハンカチマスクの簡単な作り方を紹介します

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2003/04/news115.html>

学年だより 3

松蔭高校2年生学年団 2020/4/28

休校が続いて、諸君となかなか顔を合わせることができません。生徒諸君の顔も声もない学校で、出番を待つ教材だけがたまついく今日この頃。学力保障や、諸君とのやり取りなど、この状況を何とか打開できないか、我々も苦闘中。会えない君たちに向けて、今回は先生方からの一言特集です。全先生のお声を拾えなかったことはご容赦ください。

1組担任 近藤 里奈

皆さん、外出できずストレスをためていませんか？私はディズニーに行けず観劇もできず、瀕死の状態です。さて、現代では実際に役立つ学問という意味の「実学」（科学・法律学・医学・工学など）が重視されています。「実学」の反対語を「虚学」（または「死学」）と言いますが、これは文学や哲学に相應します。しかしこういった事態に遭遇して思うのです。文学や哲学は生存には必要なくとも、人が人として生きるために必要なのではないか、と。皆さん、実学を学ぶ合間に文化芸術に触れてみてください。映画でも本でもゲームでも音楽でも構いません。…古典の教科書をめくれば、千年の時を経た素晴らしい芸術に触れることができますよ！

2組担任 大坪 純代

皆さん元気にすごしていますか？勉強やゲームばかりで運動不足になってしまいませんか？運動不足によって心や体に不調をきたしてしまうことがあります。毎日少しずつでも体を動かす機会をつくってみてください。外で歩いたり走ったりするのもよし、家でストレッチやトレーニング、ダンスやヨガをするのもよし。密を避けてやれること、自分に合った方法を見つけてやってみてください。皆さんの元気な顔を見られる日を心待ちにしています。

3組担任 高橋 伸行

授業はやれず、外出もままならないので、DVDで落語。幸不幸、酸いも甘いもごった煮の浮世を飄々と生き抜く登場人物たち。人生万事塞翁が馬だ。閉塞感のあるこのご時世で、自分の心の風穴。混乱に心かき乱されがちだが、まずは平常心で日々の勉学や生活に向き合おう。一方で肩の力を抜く技も身に着けて、再開（再会）の日までお互いへこたれないようにやっていこう、お互いにね。

4組担任 清水 治馬

少しでも前向きに取り組むために、学習を始める時間を決めて取り組むとよいです。例えば学校の平常時の時間割に合わせてみるとか、集中が持たないと思えば（45分+15分）×6でやってみるとか。これから先どうなるかは誰もわからないので、1日1日を自分の成長のために使ってください。

5組担任 岡村 育子

まだ皆の顔も覚えきれないうちに再びの休校延長とは、なんということ！先の見えない毎日に皆も不安やイライラを募らせていることと思いますが、今こそ、普段できない読書とか苦手分野の復習とか、明日の自分への投資に時間を使うときと前向きにとらえ、自律的に過ごしましょう。再会の日まで、元気ですごしてください。

6組担任 加藤 敦子

やっと学校再開、と思ったらまた休校期間が延期され、落ち着かない気分ですね。誰にも先が見えないこの状況下で不安になるのは当然のこと。自分の好きなこと、趣味など、何かリラックスできる方法を探してみてください。学校が再開されたとき後れを取らないように、課題も計画的に進めていくのを忘れずに。

7組担任 堀田 環

皆さんに会うことがかなわず、テンション下がります。テレワークが叫ばれているけど、face-to-face のコミュニケーションって大事ですよね。空気感ってありますもんね。前代未聞のこの事態、イライラもつくる日々ですが、仕方がないからあきらめてやれることをやってみましょう。あと少しの辛抱であることを願って！

8組担任 内藤 竜太郎

大変な状況が続いているが、時間を有効活用できていますか。登校機会がなく、気持ちが落ち込んでしまいがちですが、まとまった時間が取れると是非プラスに捉えてほしいです。将来の自分の為に、今出来ることを全力で取り組みましょう。「ピンチはチャンス！」会える日を楽しみにしています。

9組担任 都筑 秀夫

「かくすればかくなるものと知りながら 已むに已まれぬ大和魂」(吉田松陰) 1854年、松陰は下田でペリー率いる黒船に乗り込んで米国密航を企てたが失敗して投獄された。これは兄に宛てた書簡にその時の心情を歌ったものです。鎖国の世の中、海外渡航を企てれば罰せられるということは分かっているながらも、思いがあふれやめることなく決行した松陰の至誠、皆さんのこれから高校生活や人生に、こんな熱い思いがあふれるといいですね。

1組副担任 加藤 孝志

人生初の緊急事態です。一生語り継がれる事に遭遇しています。
哲学的な思索をしてみてはいかがでしょうか？

3・5組副担任 澤井 彩

散歩中にNHK語学講座を聞き始めました。人が少ないので、マスクの下でもごもごリピート練習をしていても怪しまれません。裁縫は縫い目の粗さを友人に指摘され、ミシンを導入しました。何事も前に進まないように感じるこのごろ、手元で何かが生み出されていくことにすごく満足感があります。

6・9組副担任 石井 光

人生はプラスとマイナスがゼロになるようにできています。今回のマイナスも必ずどこかで、形は違うかもしれないけれど、きっと返ってきます。(でも、旅行に行けないのは悲しいです…。)